

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、足立医療センターの救急医療科では、本学で保管している診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 気道熱傷患者における標準化早期抜管プロトコル及び一時的輪状甲状靱帯カニューレ留置の安全性と有効性の検討

[研究対象者]

2021年1月から倫理審査委員会承認日の間に東京女子医科大学附属足立医療センター救命救急センターに搬入され気道熱傷またはそれを疑い、気管挿管を実施した方。

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、BMI、病歴、既往歴、併存疾患、バイタルサイン(血圧、脈拍数、呼吸数、SpO<sub>2</sub>、体温、意識レベルGCS)、熱傷の発生状況、熱傷面積(TBSA)、Burn Index、顔面熱傷の深達度・面積、酸素投与方法濃度、人工呼吸器設定日数、胸部単純写真、CT検査、内視鏡所見、血液検査結果、動脈ガス分析、喀痰培養結果、吸引痰性状、ICU滞在日数、抜管日、再挿管日、転帰、合併症の有無、入院医療費、DPCデータ

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

本研究は、軽症の気道熱傷患者に対する標準化した早期抜管の治療方法の確立と、一時的な輪状甲状靱帯への気管カニューレ留置の安全性および有効性を評価することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年3月までの間(予定)

-----  
[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 附属足立医療センター救急医療科 教授 庄古知久

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 附属足立医療センター救急医療科 宮川起平

電話：03-3857-0111代表(応対可能時間：平日9時～16時)